

進路指導部だより

令和5(2023)年

6月9日(金)

第1号

三戸高校進路指導部

第1回進路希望調査の特徴は？

進路指導部だより今年度の第1号です。どうぞよろしくお願ひします。さて、今回は4月に実施した進路希望調査の結果について、その特徴をまとめてみました。

1～3年生の第1志望の状況は下のグラフに示されています。上の段が今年のもので、下の段が昨年の同じ時期の各学年の状況です。学年ごとに人数が違いますので、割合(%)で表しています。

これまでの状況として、4年制大学+短大がほぼ1/3、専門学校が1/3、就職も1/3ぐらいという傾向が多く見られます。それと比べて今年の3年生は、4大が17%(5人)ということで、大学関係が少なめです。高い目標を掲げて最後までがんばってください。専門学校は33%(10人)でちょうど1/3、就職が50%(15人)です。例年に比べ、3年生は就職希望が多い学年ということになります。専門学校では、7月から手続きが始まる学校があります。就職関係は、7月から今年の求人票の公開が始まります。高校総体が終わったばかりですが、進学も就職も1日でも早く気持ちを切り替えて進路目標に向かっていきましょう。

2年生は就職が39%(9人)と進学合計が61%です。内訳は4大短大が35%(8人)、専門学校が26%(6人)となっています。目標の学校が決まり専門分野も明確な人から、目標がぼんやりしてあれもこれもと考え気持ちがまとまっていない人まで、様々なパターンが見られます。進学説明会やオープンキャンパスなどに参加し、そろそろ具体的な目標を絞っていく時期が近づいています。

1年生は入学して分からないうちに希望調査をされていますから、これからじっくりと調べたり考えたりしていきましょう。現在は4大が38%(12人)、短大が9%(3人)、専門学校が22%(7人)、就職が31%(10人)です。上級学校への進学希望者が多く、たくさんの夢を持っていることは伝わってきました。困難に負けず、それをぜひ実現させて欲しいと思います。そのために何をしなければいけないか、よく考えてみましょう。

